

授業科目の概要

▶経営学分野（会計学領域）

会計学原理特論I・II 担当：湯澤 晃明

現代会計のあり方、会計の基本原則を理論的に修得することを目標とする。勘定科目ごとの処理・表示を具体的に学習しながら、適宜、会計の基本原則に立ち返り、会計人としての必要な会計的素養を培う。

原価計算特論I・II 担当：今林 正明

総合原価計算、原価関数の推定、活動基準原価計算、原価計算システムの設計など、生産活動その他の経済活動に関する原価情報の収集と経営管理への応用について講義する。

経営分析特論I・II 担当：高辻 成彦

業界・企業分析の基本について、証券会社の株式アナリストとしての実務経験を踏まえ、情報収集の基礎から財務分析の基礎、企業価値評価の基礎などについて講義する。

監査特論 担当：湯澤 晃明

財務諸表監査の基本的な枠組みの理解を目標とした上で、広く監査制度をめぐるさまざまな論点や海外における企業監査をめぐる事例についても取り上げること、現代社会における監査の社会的役割について研究する。

法人税法特論 担当：竹内 進

法人税法の構造を概説した上で、基本的課題として法人税の課税根拠や課税基準に関する通則などを取り上げる。

租税法特論I・II 担当：竹内 進

Iでは租税法の基礎理論について法律学の視点から理論的・実践的に研究する。IIではIを基に、法人税法および所得税法の解釈および事実への適用について現実のケースに基づき体系的に理解させる。

▶経営学分野（経営管理領域）

経営戦略特論I・II 担当：中村 裕一郎

現在の日本企業が直面している戦略的課題を念頭におきつつ、戦略の基本概念・枠組・理論とその応用についての理解を深める。また、企業を成長させる「良い経営戦略」を構成する要素について考察する。

ホスピタリティ・マネジメント特論I・II 担当：吉原 敬典

ホスピタリティ・マネジメント特論Iでは諸外国から多くの人々を迎えるにあたって、ホスピタリティ概念について理解を深め、その概念を具現化するためのマネジメントについて学ぶ。またIIでは安定的に継続的にホスピタリティを実践するための条件について考察し研究する。

人的資源管理特論I・II 担当：原 みどり

人的資源管理の基本的な理論を修得し、雇用管理・評価・報酬・人材育成などの諸制度について理解を深めることを目的とする。人材マネジメントの諸問題について、企業および労働者の両側面から考察する。

マーケティング特論I 担当：劉 亜氷

マーケティングの基本的な理論の修得と企業がマーケティングを行う相手である「消費者」を理解することを目的とする。理論をふまえつつ、さまざまなケースを用いて議論する。

マーケティング特論II 担当：吉原 敬典

企業がマーケティングを行う対象としての顧客を理解することを目的とする。また、基本的な理論を踏まえ具体的な事例について考察し研究する。

マーケティング・コミュニケーション特論 担当：吉原 敬典

サービスマーケティングに関する基本的な知識に基づいて再解釈を試みる。そして、実際の企業活動に適用して双方向のコミュニケーションのあり方について考察し研究する。

リテール・マーケティング特論 担当：劉 亜氷

リテール・マーケティングの基本的な理論の修得を目指しながら、買い物のデジタル化、プライベート・ブランドの開発とライブコマースなど、リテール・マーケティングをめぐる近年の新しい動向を考察し研究する。

データサイエンス特論 担当：伊藤 利佳

経営データは多変量データであり、それらが有する本質的情報を抽出し因果構造を可視化することにより実態の精確な認識（解析）が可能になる。その上でロジカルに提案（設計）するという科学的経営のための理論と技法を学ぶ。

品質経営特論 担当：伊藤 利佳

日本製品の品質は独自の品質管理活動や管理手法によって発展し、支えられてきた。本講義では、品質管理に関する理論的な理解のみならず実践的な活用を念頭に品質管理の基本的知識および方法論について学ぶ。

ファイナンス特論 担当：織田 薫

本講義では、コーポレートファイナンス（企業財務）とバリュエーション（企業価値評価）を中心に学び、「企業価値の向上」、「価値創造経営」、「サステナブルな成長」という現代ビジネスにおけるキーコンセプトの理解促進を主目的とする。

金融工学特論 担当：織田 薫

本講義では、金融工学の中心概念である「リスク」にスポットを当て、リスクとは何か、リスクをマネジメントするためには何が必要かの理解を深める。その上で、最適なリスク・リターンをふまえた事業・金融ポートフォリオ構築への基礎的理解を主目的とする。

経営情報特論I・II 担当：土井 正

Iでは、インターネット・ビジネスを牽引する企業に焦点を当て、「顧客価値の創造」「イノベーション」「競争優位」の観点から、各社の戦略、成功の要因や収益構造を明らかにする。IIでは、ビジネス・モデルを題材にし、社会の発展により変革を余儀なくされる企業について研究する。

経営組織特論I・II 担当：織田 薫

経営組織特論I、IIを通じて、経営組織論を網羅的に学ぶ。春学期では、個人はなぜ働くのかなど、働く個人というミクロ的な視点から組織を考え、秋学期では、組織とは何か、進化した成長する組織の条件は何かなど、組織をマクロ的な視点から考える。

アジア経済特論 担当：江崎 康弘

日本の常識が世界の非常識であることや、逆に世界の常識が日本の非常識なこともある。グローバル化が進む中、アジアの中で日本が置かれている状況を多方面から見た上で、アジア諸国（アセアン諸国10か国、中国・香港・台湾・韓国・インドなど）への市場進出に関する日本企業の課題を理解し、施策案を立てられることを目標とする。

グローバル経済特論 担当：江崎 康弘

B2Bビジネスに関して、業界概要に加え、主な企業の事業戦略の事例紹介を行う。それらを通じ、国際経済、日本経済および日本企業の課題に関する各テーマについての知識を習得したうえで、議論できることを目標とする。

経営統計リテラシー特論I・II 担当：伊藤 利佳

本講義では、経営のさまざまな場面で現れるデータを統計解析する技法について講義と演習で実践的に学ぶ。Iでは例題を通して基礎的な概念の修得を、IIでは解析結果を解釈する技法に焦点を当て、統計学を活用する力を養う。

▶共通科目

経営学フォーラムI・II 担当：吉原 敬典

1・2年次必修。修士論文作成のために必要な基礎知識を広く学ぶ。そのため、学生各自の専門領域に属する研究成果の報告と質疑応答を中心に行い、研究の進め方とプレゼンテーションの手法を修得することを目的とする。

▶研究指導

経営学特別演習I・II・III・IV

各研究指導教員が、それぞれの専門領域の基本問題トピックスなどについて、専門書・論文などに基づき研究指導する。具体的には、研究題目の決定と修士論文の作成についての研究指導を行う。

ハイブリッド型授業の実施

本学では、対面・遠隔を併用したハイブリッド型で授業を実施しています。

カリキュラム（修了要件：30単位以上 ただし、特定課題論文コースは40単位以上）

	科目名	単位数		配当年次
		必修	選択	
経営学分野	会計学原理特論I		2	1・2
	会計学原理特論II		2	1・2
	原価計算特論I		2	1・2
	原価計算特論II		2	1・2
	経営分析特論I		2	1・2
	経営分析特論II		2	1・2
	監査特論		2	1・2
	法人税法特論		2	1・2
	租税法特論I		2	1・2
	租税法特論II		2	1・2
	経営戦略特論I		2	1・2
	経営戦略特論II		2	1・2
	ホスピタリティ・マネジメント特論I		2	1・2
	ホスピタリティ・マネジメント特論II		2	1・2
	人的資源管理特論I		2	1・2
	人的資源管理特論II		2	1・2
	マーケティング特論I		2	1・2
	マーケティング特論II		2	1・2
	マーケティング・コミュニケーション特論		2	1・2
	リテール・マーケティング特論		2	1・2
	データサイエンス特論		2	1・2
	品質経営特論		2	1・2
	ファイナンス特論		2	1・2
	金融工学特論		2	1・2
	経営情報特論I		2	1・2
	経営情報特論II		2	1・2
	経営組織特論I		2	1・2
	経営組織特論II		2	1・2
	アジア経済特論		2	1・2
	グローバル経済特論		2	1・2
	経営統計リテラシー特論I		2	1・2
	経営統計リテラシー特論II		2	1・2
共通科目	経営学フォーラムI	2		1
	経営学フォーラムII	2		2
研究指導	経営学特別演習I	1		1
	経営学特別演習II	1		1
	経営学特別演習III	1		2
	経営学特別演習IV	1		2

履修スケジュール例（夜間・土曜講義を前提とした会計学領域1年次）

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
1	9:30 ～ 11:00					1
2	11:10 ～ 12:40	※平日第1～3時限は 経営学専攻の授業はありません。				2
3	13:30 ～ 15:00					3 ホスピタリティ・マネジメント特論I ホスピタリティ・マネジメント特論II
4	15:10 ～ 16:40					4 マーケティング・コミュニケーション特論 マーケティング特論II
5	16:50 ～ 18:20					
夜1	18:30 ～ 20:00	経営分析特論I 経営分析特論II	租税法特論I 租税法特論II	経営学フォーラムI 経営学フォーラムII		
夜2	20:10 ～ 21:40		法人税法特論 監査特論	会計学原理特論I 会計学原理特論II	原価計算特論I 原価計算特論II	

…春学期 …秋学期

※会計学領域・経営管理領域のどちらも、上記履修スケジュール例に加えて「経営学特別演習I・II」の履修が必要です。「経営学特別演習I・II」の開講時間は指導教員と相談の上、決定します。
※上記の履修スケジュールに書いている科目は選択して履修するための参考です。すべての科目を1年間で履修する必要はありません。

▶社会人が学びやすい環境&サポート

【経験を生かせる社会人特別入試】

リカレント教育の流れの中、あなたの実務経験にあなたの問題意識を付加してまとめ、修士論文として仕上げてみませんか？ 出願資格については、入学試験要項をご覧ください。

【経営学の入門編から学ぶことができます】

多くの授業科目にはIとIIがあり、Iでは経営学の各分野について入門編から学ぶため、ご安心ください。IIでは応用問題を取り上げます。1つの授業科目についても入門編から講義します。

【ハイブリッド型授業(対面・遠隔授業)を実施】

広範囲の地域から学ぶことができるように、対面と遠隔授業の割合についてご相談にお応えています。詳しくはオープンキャンパスなどでご確認ください。

【じっくり学べる長期履修制度】

長期履修制度を利用すれば、通常2年の修業年限を超えて計画的に履修することができます、仕事と生活のベースに合わせて学ぶことができます。

【大学院受験を目指す研究生を受け入れます】

大学院進学へ向けて準備したい方を研究生として受け入れています。

【科目等履修生制度を活用できます】

本研究科に入学前の方でも、希望する科目を履修することができます。大学院入学後の履修について心構えができるとともに、修得した単位は大学院の正規の単位として認定されます。

【教育訓練給付制度を利用することができます】

経営学専攻は、「一般教育訓練給付」の対象講座として指定を受けています。（詳細はP4を参照）

【都心の好立地と緑豊かな環境】

新宿副都心を一望でき、社会人学生にとって通学しやすい便利なアクセスが特徴です。また、都心でありながら四季折々の景色が味わえる自然豊かなキャンパスでリラックスして学ぶことができます。

履修スケジュール例（夜間・土曜講義を前提とした経営管理領域1年次）

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
1	9:30 ～ 11:00					1
2	11:10 ～ 12:40	※平日第1～3時限は 経営学専攻の授業はありません。				2
3	13:30 ～ 15:00					3 ホスピタリティ・マネジメント特論I ホスピタリティ・マネジメント特論II
4	15:10 ～ 16:40					4 マーケティング・コミュニケーション特論 マーケティング特論II
5	16:50 ～ 18:20	経営戦略特論I 経営戦略特論II	人的資源管理論I 人的資源管理論II			
夜1	18:30 ～ 20:00	アジア経済特論 グローバル経済特論	経営組織特論I 経営組織特論II	経営学フォーラムI 経営学フォーラムII	経営情報特論I 経営情報特論II	マーケティング特論 リテールマーケティング特論
夜2	20:10 ～ 21:40	経営統計リテラシー特論 経営統計リテラシー特論II				

…春学期 …秋学期